

高すぎる国保料引き下げを 太田議員が一般質問で追及



太田議員は国民健康保険について質問。寝屋川市では約半数の世帯が国保加入であるが、あまりにも高い国保料となっており、保険料の引き下げをもとめました。滞納世帯にたいするペナルティとして、資

格書が発行されていることについても、市民が医療にかかれず、命をうばうことにつながるものであり、やめるようもとめました。とくに、病気療養中や生活困窮世帯への保険証とりあげをやめるよう、もとめました。また国保料減免制度については、他の自治体で納付書を送る際に、保険料減免制度を周知している例や訪問徴収の際に説明している例、低所得者世帯については職権で減免している例などあげ、寝屋川市でも、具体的な

「初めに民営化ありき」見直せ 田中議員が 保育所問題で質問



9月市議会一般質問で田中議員は、保育所民営化について質問。東京都文京区で区が2つの公立保育園を民

営化する計画を明らかにしたが、「保育園のあり方検討協議会」で保護者と協議をつづけ、「民営化によるコスト削減効果が少ない」「保育の質の維持は不透明」として民営化を中止したことを紹介。寝屋川市でも、「初めに民営化ありき」の姿勢を改め、保護者、関係者と十分な協議を

介護保険 障害者控除 認定者全員に制度周知を

おこなうよう、市にもとめました。田中議員は介護保険では、松山市で、介護認定をうけた人全員に、障害者控除制度の周知がされ、手続きも簡易にされていることを明らかにし、寝屋川市でも、同じような対応をもとめました。生活保護では、北九州市での餓死事件の例を紹介し、寝屋川市で

も生活困窮者の声をしっかりとときき、対応することをもとめました。

保険証とりあげやめよ 保険料減免制度改善を

改善をもとめました。また、来年4月から65歳以上の加入者の場

合、保険料が年金から徴収される点についてとりあげ、市独自の減免や分納の継続ができるよう、もとめました。

議員日誌



松尾 信次

もうすぐ10月になるというのに、わが家の朝顔が毎朝きれいな花を咲かせています。椿の木にまだつるが延び、「椿に朝顔の花が咲く」という、めったにみれないことになっていきます。

久しぶりに同和行政について質問しました。寝屋川市での不公正な同和行政を許さないとりくみの経過にも、ふれました。「人権」の名で特別扱いを継続させないためひきつづき、がんばりたいとおもいます。

9月市議会一般質問
全文は、党議員団の
ホームページで見れます